

磐田市



桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより

第254号 2025年7月号

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地



ヤンマとトンボの違いは・・・？

6月号のビジターセンターだよりでは、桶ヶ谷沼で見られる夏のトンボたちを紹介しました。7月号では、「〇〇ヤンマ」と呼ばれるトンボたちを紹介します。

トンボとヤンマには明確な違いの規準はありませんが、「ヤンマ」は大型のもの、「トンボ」は小・中型のものをさしている、という説が一般的です。



オニヤンマ (オニヤンマ科)

日本最大のトンボで 10cm を超える。



ウチワヤンマ (サナエトンボ科)

腹部の先端に近い部分の節の側縁がウチワ状に広がる。



タイワンヤンマ (サナエトンボ科)

ウチワ状の広がりが小さく黒い。外来種ではない。



ギンヤンマ (ヤンマ科)

オス・メスとも腹部のつけ根に銀白色斑が見られる。



アオヤンマ (ヤンマ科)

数が急速に減っている。オスは腹部が青緑色をしている。



カトリヤンマ (ヤンマ科)

ギンヤンマに似ているが小さい。近年数が減っている。



サラサヤンマ (ヤンマ科)

胸部の斑紋が更紗模様に似ていることが名の由来。



マルタンヤンマ (ヤンマ科)

オスは複眼から胸部にかけて鮮やかなコバルトブルー。



ヤブヤンマ (ヤンマ科)

薄暗い藪の中で飛んだり、枝などにとまったりしている。



コオニヤンマ (サナエトンボ科)
体色がオニヤンマに似ているが、複眼が小さい。



ネアカヨシヤンマ (ヤンマ科)
早朝または夕方に見られることが多い。数が減っている。



クロスジギンヤンマ (ヤンマ科)
ギンヤンマに似ているが、銀白色斑がない。

サナエトンボ科の多くは、「〇〇サナエ」という名がついていますが、写真にある、ウチワヤンマ、タイワンウチワヤンマ、コオニヤンマのように「〇〇ヤンマ」という名がついている種類もあります。

オニヤンマやギンヤンマの飛ぶ姿はカッコよく、トンボ好きな子どもたちから大変人気があります。

センター行事：「水生生物観察会」

★申し込みは直接、電話やファックスでビクターセンターへ

★日時 9月7日(日) 13:30~15:30

★場所 田原交流センター西の水車付近

★対象 一般(小学生は保護者同伴で保護者の方もなるべく一緒に川に入ってください。未就学児の参加・見学はご遠慮ください)

★内容 桶ヶ谷川に棲む水生生物の観察

★服装・持ち物 水に入って活動ができる服装、長靴または汚れてもいい靴、ゴム手袋、帽子、水筒、タオル、着替え、少雨の場合カッパ

★安全のためサンダルでの参加ははやめてください。

★着替えの場所は確保していませんので各自でお願いします。

★備考 ・天候によっては中止になることがあります。

・駐車場は田原交流センター南の空き地です。係の指示に従ってください。

・田原交流センター駐車場にはとめないでください。

★募集人数 20人 先着順

過去の「水生生物観察会」のようす



あみかわぞこ
網で川底をすくうと



カニやさかながとれました